

校長室だより

令和8（2026）年1月9日



ミャックッキー



「やさしく豊かな心を持ち、共に学び、共に育つ 北小っ子」に！

「つながり」を大切にして、 「学校が楽しい」と言える子どもたちを！

今学期も、多くの時間を過ごす学校生活が、子どもたちにとって学校が「楽しい」と思えることをめざしていきたいと思います。「楽しい」とは…「勉強が分かった」「友だちと楽しく話しながらよく遊ぶことができた」「自分の思いを聞いてもらえた」「先生や友だちに認めてももらえた」…。

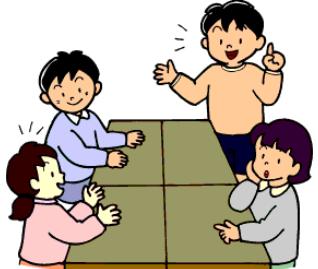
○子ども一人ひとり活躍の場がある「心地よい教室、学校」つくり

○一人ひとりの考えを伝え深める「学び合い」活動

を重点に取り組みます。

また、「つながり」のキーワードを大切にしていきます。

「学び合い」などを通しての学習や遊びなど、学校生活を通しての子ども



も同士、児童と教職員、教職員同士、そして保護者や地域の方とのつながり

りを大切にしていきます。今年もよろしくお願ひします。

「思いやり」を大切にして、 笑顔いっぱい・やさしさ いっぱいの楽しい学校に！～「思いやり算」の心で～

3学期の始業式では、人を笑顔にする算数「思いやり算」について話をしました。

「たし算」の「+」は、「助け合う」ことです。一人一人の力は小さくても、みんなで力を合わせて助け合えば、大きな力を出すことができます。

「ひき算」の「-」は、「引き受ける」ことです。困っている人がいたら、ちょっとしたことでも引き受けあげることです。相手の喜びを感じることができれば、引き受けた自分も嬉しくなります。

「かけ算」の「×」は、「声をかける」ことです。「おはよう」、「ありがとう」、「頑張って」、「大丈夫」などのあいさつや優しい言葉、励ましの言葉をかけることで、お互いの心が通じ合い一つになれる

ます。

「わり算」の「÷」は、「分け合う」ことです。嬉しいときや悲しいときは、だれかに話すことで、気持ちを分け合うことで、喜びは倍になり、悲しみは半分になります。

この「思いやり算」は、以前テレビのコマーシャルで放送されていました。そのコマーシャルの最後は、「それは、人を笑顔にする算数。思いやり算。ほら、やさしいでしょ。」の言葉で終わっています。

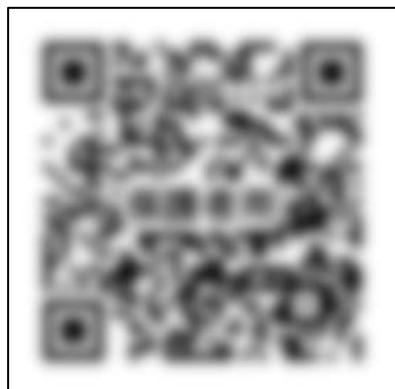
小さなやさしさが人に笑顔を与えます。ちょっとした気配りが、人を安心させ、あたたかい気持ちしてくれます。

困っている人がいれば

× (かける) = ^{3ス}声をかけよう！ (どうしたの？)
÷ (わる) = ^{きも}気持ちを分け合う言葉 (だいじょうぶ？それはこまつたね。)
+ (たす) = ^{3ス}助ける言葉 (○○してあげるよ。いっしょに○○しよう。)
- (ひく) = ^{ひく}引き受けの言葉 (これからも相談してね。
ずっと、お友達でいようね。)

「助け合い」、面倒なことでも気持ちよく「引き受け」、互いに「声をかけ合い」、うれしいことも悲しいことも「分かち合う」。この『思いやり算』の心で思いやりの気持ちを育みながら、笑顔いっぱいやさしさいっぱいの楽しい学校生活を送れるようにしていきたいと思います。

「学校教育アンケート」協力へのお願い



本日、今後の学校をより良きものにするために、保護者の皆さん向けの「アンケートのお願い」をスクリレで配信します。QRコードからのアンケートフォームに入力をお願いします。

※アンケートは、**1月19日(月)**までに入力してください。

学校教育に対するアンケートは、保護者の皆さんだけでなく、全児童および教職員にも実施します。集計、分析のあと、結果概要をお知らせします。

北豊島小学校 ホームページ

<https://ikeda.schoolweb.ne.jp/2710029>

「北小っ子の様子」をぜひご覧ください。